

自然保護の窓

第9期霊長類保護委員会より

1. 和歌山県タイワンザル交雑群に関する報告

日本霊長類学会は、和歌山県大池遊園周辺地域に生息しているタイワンザルとニホンザルの交雑群について、保護委員会を中心に現状調査と問題提起および啓発に努めてきました。和歌山県では、交雑個体群の排除を目的とした特定鳥獣保護管理計画を策定し、捕獲除去を実施してきました。特定鳥獣保護管理計画は2005年3月末に終了しましたが、その後も和歌山県や環境省の事業として捕獲努力が続けられてきました。その結果、2006年6月現在、当初確認されていた大きな集団については、ほぼすべて捕獲できた可能性が高いと推測される状況に至りました。しかしながら、まだ取り残しがあることが十分考えられるため、2006年秋に当該個体群の個体数調査を実施し、現在の状況を確認する予定です。

(室山泰之)

2. 第22回大会における自由集会開催について

野生霊長類をめぐる状況は年々厳しいものとなっており、このような状況の中世界各地でさまざまな霊長類を対象とした地域個体群の保全が図られてきましたが、とくに近年になって、さまざまな新しい取り組みが展開されつつあります。そこで、第22回霊長類学会大会において、自由集会「野生霊長類の保全と保護活動の動向」を開催しました。この自由集会では、病気という問題を通じた類人猿の保護の取り組みと、国際協力の場における環境省による生物多様性保全の取り組みを紹介していただくとともに、アジア、アフリカそれぞれの現場での保護活動の現状を報告していただきました。詳細は、大会記事—シンポジウム・自由集会要旨をご参照ください。

(室山泰之)

3. 第22回大会での物品販売および寄付金について

日本霊長類学会第22回大会開催中の物品販売および寄付金の決算をご報告いたします(表1)。寄附にご協力くださった会員のみならず、および物品販売にご協力くださった方々に感謝いたします。従来より原則として無人販売を実施していますが、大会期間中販売にご協力くださった方々にも厚く御礼申し上げます。

第20回大会から、会員より提供していただいた物品を買い取り、自然保護物品として販売しております。今年も数名(グループ)の方々からご提供いただいた物品を販売し、たいへん好評でした。ご協力に深く感謝いたします。

(室山泰之)

表1 第22回大会における自然保護物品の販売売上額、および寄付金額

品目	単価(円)	個数	金額
テレホンカード(イラスト)	500	6	3000
テレホンカード(ニホンザル)	600	5	3000
テレホンカード(テナガザル)	600	3	1800
絵はがき(イラスト)	50	0	0
絵はがき(写真)	300	6	1800
クリアフォルダー	200	1	200
プレスファイル	400	0	0
リユースラベル(旧)	150	10	1500
ボールペン	50	5	250
フロッピーケース	200	0	0
OAリピタック	150	1	150
リユースラベル ¹⁾	100	11	1100
照明付ボールペン ¹⁾	800	4	3200
手ぬぐい(白) ¹⁾	500	38	19000
手ぬぐい(染め) ¹⁾	700	10	7000
ざるぐるみ ¹⁾	1000	8	8000
物品販売合計			50000
寄付金			3500

¹⁾ 会員からの買取販売物品